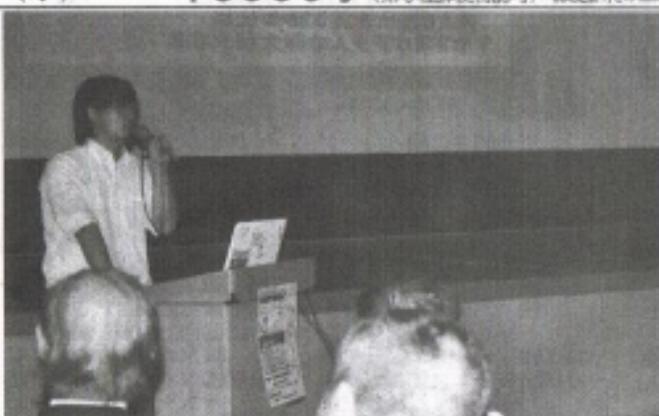


に  
あ  
桜  
が  
咲  
け  
ば

# 盛岡の上映会に180人 小川光一監督の講演も



ドキュメンタリー映画「あの街に桜が咲けば」に込めた思いを語る  
小川光一監督

陸前高田市の津波最高到達点に、桜を植える市民活動を取り上げたドキュメンタリー映画「あの街に桜が咲けば」(小川光一監督、40分)。あのさくらの上映会が19日、盛岡市上田4丁目の上田公民館ホールで開かれた。

この映画は、千葉健一実行委員会(千葉健一実行委員長)の主催。市民約180人が観賞し、作品に込められた防災や復興への思いをかみしめた。東日本大震災津波で壊滅的な被害を受けた

あのさくら全国上映プロ

ジェクトin盛岡実行

有志らで作るNPO法

人桜ライン3-1-(岡

本勝利代表)が、津波

最高到達点に桜を植樹

する活動を展開してい

る。映画は、戸羽太市

長や危機管理アドバイ

ザーの岡崎信江さんら

のインタビューを交えながら、教訓を後世に引き継ぐうと奮闘する岡本代表の姿に迫った。岡本代表は震災を機に、東京の勤務先を辞して郷里にリターンした。高齢化が進む陸前高田に残り、地元の若手リーダーとして活躍していた後輩や友人が津波で命を落とした。都会に離れていた自分が助かったことに、とてもない悔しさを覚えたという。どうすれば大切な人の命を守れるのか。次世代に震災の教訓を引

いた。岡本代表は、「被災地の復興が遅々として進まない一方、震災の風化は、どんどん進んでいる」と指摘。「桜が次世代に引き継がれ、命を守る象徴になつてほしい。亡くなつた仲間によつくなりたい」と話

き継ぎ、避難の重要性を訴えるため「桜プロジェクト」の活動を始めた。市内の津波最高到達点は総延長170m。桜は100mに一本の間隔で植えており、これまで目標までの道のりは、まだ長い。上映会後の講演で小川監督は「災害はどこでも起らう。心の中に、自分なりの桜。インを持つて」と語調。ながら、教訓を後世に引き継ぐうと奮闘する岡本代表の姿に迫った。岡本代表は震災を機に、東京の勤務先を辞して郷里にリターンした。高齢化が進む陸前高田に残り、地元の若手リーダーとして活躍していた後輩や友人が津波で命を落とした。都会に離れていた自分が助かったことに、とてもない悔しさを覚えたという。どうすれば大切な人の命を守れるのか。次世代に震災の教訓を引いた。岡本代表は、「被災地の復興が遅々として進まない一方、震災の風化は、どんどん進んでいる」と指摘。「桜が次世代に引き継がれ、命を守る象徴になつてほしい。亡くなつた仲間によつくなりたい」と話